平成22年10月31日発行 [発行] 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ:http://www.tfd.metro.tokyo.jp

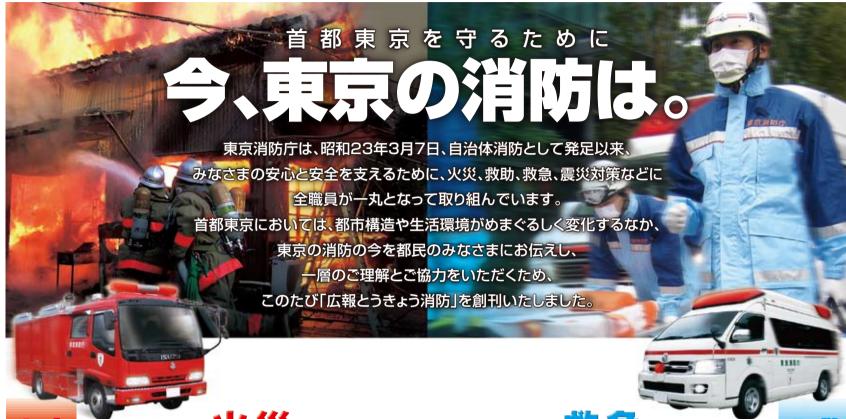


<2面> 救急車の適正利用を! 病院へ行く?救急車を呼ぶ?迷ったら・・東京消防庁救急相談センターへ あなたにもできることがある!

<3面> 地震に備えて家具を固定しよう! みんなで防災を学ぼう!

Miniコラム「PA連携」 我が街のために 消防団員募集! プレゼントコー





火災

東京消防庁管内における火災件数は、最近10年 間の傾向を見ると減少傾向にあります。

平成12年中では、6,938件の火災が発生してい ましたが、昨年は、5,601件で、約1,300件減少し ています。昭和40年代では、約9,000件の火災が 発生していたことから見ると、火災件数が大きく減 少していることがわかります。

しかし、一方 で、火災による 死者は、ほぼ 横ばいとなっ ています。

火災による

火災による

をめざそう!

化者セロ

907

<火災件数と火災による死者の推移> 2001 ▲火災件数(件) -火災による死者(人) 150人 100) 50 J

死者の8割は住宅火災から発生しています。死者の 発生した主な出火原因は、「たばこ」「電気ストー ブ」「ガステーブル」「石油ストーブ」などがあげら

れます。

住宅火災で亡く なった人の5割が「火 災の発見の遅れ」に よるものです。住宅 用火災警報器を設置

することで、火災を早期に発見し、燃え広がるのを 防いだり、いちはやく避難することができます。

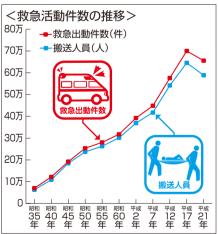
東京消防庁管内では、現在231台の救急車が日 夜、首都東京の救命最前線で活動しています。皆さ んの中には、もっとたくさんの救急車があると思わ れていた方もいるのではないでしょうか?

平成21年中の救急出動件数は、約65万件で、時 間にすると、48秒に1回出動していることになりま す。これは、実に都民の19人に1人が救急車を利用

していることになります。

一方、救急車で病 院に搬送された方の 半数以上が、入院を 必要としない、自力 で帰宅できるような 軽症者です。





救急車は 一刻を争う人 を助けたい!

尿を231

b

日約

ましたか?住宅用火災警報器 👢 🗆

平成22年4月1日から東京都(島しょ地区を除く)では、住宅用火災警 報器の設置が義務となりました。

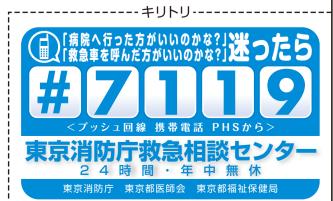
主想出火原因

ガステーブル 石油ストーブ

平成22年6月に実施した世論調査によると、東京消防庁管内での住 宅用火災警報器の設置状況は、自動火災報知設備又はスプリンクラー 設備が設置されている世帯を含めると79.4%となっています。

火災から命を守るために、未設置の住宅は早期に設置してください。 なお、悪質販売には十分ご注意ください。また、設置がお済みの方は、 定期的に住宅用火災警報器が正しく作動するか点検しましょう。

ハサミを使わずに切 り取れます。



急車は、必要な時、必要な人が 用できるように。

救急車は、けがや急病などで緊急に病院へ搬送しなければならない傷病者 のためのものです。

緊急ではないのに救急車を呼ぶと、本当に救急車を必要とする事故などが 発生した場合、遠くの救急車が出動することになり、到着が遅れることで、救 えるはずの命が救えなくなるおそれがあります。救急車は、真に緊急性のあ るときに利用するものです。また、救急車は皆さんの共有の財産であり、適正 に利用していただくことが大切です。



23区 ▶ 03-3212-2323 多摩地区 ▶ 042-521-2323 つながらない場合は…

救急出動件数が増加した背景にはいろいろな要因が考えられますが、その理由のひとつに「救急車を呼ん だ方がいいのかわからなかった」という声が寄せられています。

そんな時は、東京消防庁救急相談センターへお電話ください。「今すぐ病院へ行った方がいいのかな?」「救 急車を呼んだ方がいいのかな?」といった相談に、医師や看護師、救急隊経験者等(救急相談通信員)の相談 医療チームが24時間年中無休で対応しています。

医療機関案内









この部分を切り取り、目に付く所へ お貼りください。

迷わず119番通報を!

キリトリー √「病院へ行った方がいいのかな?」2373 「救急車を呼んだ方がいいのかな?」とし 東京消防庁救急相談センタ・ またはつながらない地域の場合は…

東京消防庁 東京都医師会 東京都福祉保健局

病人やけが人の救命効果を高めるためには、バイスタンダー(救急事故現場に居合わせた 人)によって行われる応急手当がとても重要です。

する窓口等を紹介

もし、人の命にかかわる場面に遭遇したとき、「わたしには関係な い」「何もしない」「何もできない」ではなく、自分ができる範囲のこ とを、自信を持って行うことで、あなたにも救える命があるのです。

東京消防庁では、都民のみなさまや事業所等を対象とした応急 手当の講習会を行っています。詳しくは、お近くの消防署へお問い 合わせください。



防災は 備えと意識と 助け合い (平成22年度東京消防庁防災標語)

地震に備えて、 家具を固定しよう!



近年発生した大きな地震でけがをした原因を調べると、約3割から5割が家具類の転倒・落下によるものでした。

また、平成19年の新潟県中越沖地震発生後に柏崎市民に東京消防庁が実施したアンケート調査では、建物被害に「なし」と回答のあった世帯でも、94.0%の世帯で家具類の転倒・落下が発生していました。

特に、食器棚やタンス・本棚といった背の高い家具や、台に置かれたテレビ、電子レンジなどの家電製品が、多く転倒・落下をしています。けがの防止や逃げ道の確保のために、家具類の転倒・落下防止対策をしておきましょう。

◆◆◆我が家の安全チェックをしてみましょう◆◆◆

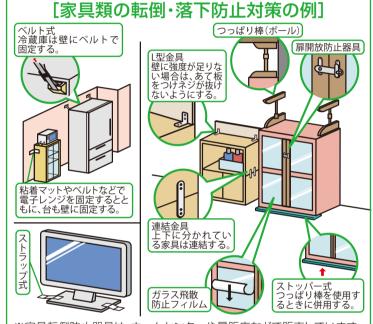
- □ L型金具やつっぱり棒などで、家具を固定している
- □ 寝室やリビングなど、長い時間過ごす場所の家具は、転倒防止対策を している
- □ 家具や冷蔵庫の上に落ちやすいものを置いていない
- □ 重いものはできるだけ家具の下の方に収納している
- □ ガラスには飛散防止フィルムを貼ってある
- □ 観音扉には収納物が飛び出さないよう、扉に開放防止器具を取り付けている
- □ テレビ台やピアノなど、キャスター付きのものは、動かないようにしてある

→ 家具の転倒・落下防止対策にはこんなメリットが! ◆

小さなお子様がいるご家庭であれば、家具の転倒・落下防止対策は、 そのまま事故防止対策にもつながります!!

「引き出しを強く開けた」「引き出しに乗った、ぶらさがった」などで転んでけがをするなど、日常生活での事故も防ぐことができます。





※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。 ※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

みんなで防災を学ぼう!



おうだをまもろう! けむりをすわないようににげようね! おうさない かけない しゃべらない もどらない

できる人になろう!

小学校 中・高学年の みんなは とってもカンタン!



中学生 以上の みんなは ジ害発生時の 基本的な防災行動が

もえているものがあったら、

東京消防庁では、幼児期からの発達段階に応じて防火防災を体系的に学んでいく「総合防災教育」に取り組んでいます。お子様に学校などで行われている防災学習の話しを聞いてみてください。ご家庭でも防火防災について話し合い、いざという時の行動や日頃の備えを確認しておきましょう。

「防災館」で たい けん

防災館では、地震体験や煙からの避難体験、初期消火・ 応急救護・119番通報の訓 練などができます。防災館で

■池袋防災館

■本所防災館

豊島区西池袋2-37-8 電話:03-3590-6565

楽しく防災を学びましょう。

墨田区横川4-6-6 電話:03-3621-0119

■立川防災館

立川市泉町1156-1 電話:042-521-1119







高輪消防署二本榎出張所が歴史的建造物に!



建物で、昭和59年まで高輪消防署の本署庁舎として使われていました。 建物内には、龍吐水や丸太はしごといった江戸時代の火消道具なども展 示しています。

付近を散策する際はぜひお立ち寄りいただき、消防の歴史に触れてみて はいかがでしょうか?

付近は情緒ある街並で、泉岳寺をはじめとするお寺や小道も多く、ちょっ とした散策にはちょうどいい雰囲気です。おいしいお店も見つかるかも?



本榎出張所 所在:港区高輪2-6-17 電話: 03-3473-0119

※建物内の見学を希望される場合は、あらかじめご連絡をお願いいたします。※災害等により、見学できない場合があります

消防隊(Pumper)と救急隊 (Ambulance)が協力して行う活 動を「PA連携」と呼んでいます。

119番通報をして救急車を呼ん だのに、赤い消防車が来てびっくり した、という経験はありませんか?

東京消防庁では、119番通報の 状況から病人やけが人の方に急を 要する救護が必要と判断される場 合や救急要請の増加により救急車 の到着が遅れることが予想される 場合などに、救急隊の資格を持って いる職員が乗車した消防隊が出動

して自動体外式除細動器(AED) 等により救出・救護活動にあたって います。

この方式により、到着時間の短 縮や救命率のアップなど、都民生活 の安全と都民サービスの向上を図 ることができます。



現在、会社員、自営業者、学生、主婦などさまざまな職種、男女を 問わず幅広い年齢層の方々が消防団員として活躍しています。 あなたも地域防災の要として活動しませんか!

ご興味のある方はお近くの消防署へご相談ください。



で応募いただいた方の中から抽選で100名様に、 「東京消防庁オリジナルグッズ」をプレゼント!!

ハガキに ①住所 ②氏名 ③年齢 ④性別 ⑤職業 ⑥広報とうきょう消防 をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 東京消防庁広報課 「広報とうきょう消防」編集担当

切 >11月22日(月)必着(応募はお1人様につき1枚とさせていただきます。) <当選発表>プレゼントの発送をもって発表にかえさせていただきます。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用させていただきます。

東京消防出初式 ■開催日時:平成23年1月6日(木)9時45分から ■場所:江東区有明(東京ビッグサイト

東京消防庁ホームページ http://www.tfd.metro.tokyo.jp

東京消防庁の代表電話:03-3212-2111

東京消防

検索グリック



